

# 腎におけるMRI拡散強調画像の有用性の検証

## 【はじめに】

MRIという画像は、腎臓の腫瘍を見つけたり、見分けたりする時によく使われています。ただし、サイズが小さいとよく見えなかったり、実際に見つかった腫瘍がどんなものなのか診断が難しいことも時々あります。最近、拡散強調画像(MRIの撮り方の一つ)が撮られるようになってきましたが、私たちは、この撮像法が腎臓の診断にどれくらい役に立つのかを明らかにしたいと考えています。

## 【対象】

2000年4月1日より2013年6月30日の間に、九州大学病院にて腎臓の腫瘍でMRIを撮られた方(約300例)を対象とします。

## 【研究内容】

- 1.腎臓の腫瘍で腎盂癌というものがあります。拡散強調画像でこの腫瘍がどれくらい見えるのか調べます。
- 2.腎臓の腫瘍には良性と悪性があります。拡散強調画像で良悪性がどのくらい見分けられるのか調べます。
- 3.腎臓の腫瘍で腎細胞癌というものがあります。拡散強調画像で、手術後に再発する危険性を予測できるか調べます。

## 【患者さんの個人情報の管理について】

個人情報漏洩を防ぐため、九州大学大学院医学研究院臨床放射線科学分野においては、個人を特定できる情報を削除し、データのデジタル化、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取り、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。本研究の実施過程及びその結果の公表(学会や論文等)の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。対象者となることを希望されない方は、下記連絡先までご連絡下さい。

## 【研究期間】

研究を行う期間は承認日から2015年3月31日まで

## 【医学上の貢献】

腎臓の腫瘍をどのように治療すべきかの判断が容易になると考えられます。

## 【データの二次利用について】

本研究で得られたデータを別の研究に二次利用する可能性があります。その場合は改めて倫理審査委員会において審査し、承認を受けた上で利用します。

## 【研究機関・組織】

九州大学大学院 医学研究院 臨床放射線科学分野 教授 本田 浩  
九州大学病院 放射線科 助教 西江 昭弘  
九州大学病院 放射線科 助教 浅山 良樹  
九州大学大学院 医学研究院 分子イメージング・診断学 助教 高山 幸久  
九州大学大学院 医学研究院 臨床放射線科学 助教 藤田 展宏

連絡先: 〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1 Tel:092-642-5695 担当者:西江 昭弘